

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月25日 (2019.4.25)

【公表番号】特表2018-511592(P2018-511592A)

【公表日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2018-016

【出願番号】特願2017-548947(P2017-548947)

【国際特許分類】

C 0 7 D 211/94 (2006.01)

C 0 7 C 67/62 (2006.01)

C 0 7 C 69/54 (2006.01)

C 0 7 C 7/20 (2006.01)

C 0 7 C 15/46 (2006.01)

C 0 7 C 11/18 (2006.01)

C 0 8 F 2/40 (2006.01)

C 0 8 F 20/00 (2006.01)

C 0 8 F 12/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 211/94

C 0 7 C 67/62 C S P

C 0 7 C 69/54 Z

C 0 7 C 7/20

C 0 7 C 15/46

C 0 7 C 11/18

C 0 8 F 2/40

C 0 8 F 20/00 5 1 0

C 0 8 F 12/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月15日 (2019.3.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

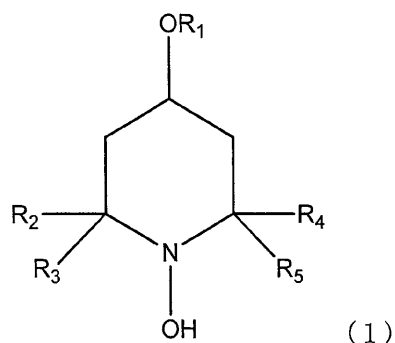
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

不飽和炭素 - 炭素結合を含む不飽和化合物の重合を阻害するための方法であって、
前記不飽和化合物を、式 1 の構造を有するヒドロキシルアミン化合物と接触させること
を含む、

【化 1】



式中、

R_1 が、 $C_3 \sim C_{10}$ アルキルまたはアルカリールであり、

R_2 、 R_3 、 R_4 、及び R_5 が独立して、アルキルまたはアルキルアリールである、方法。

【請求項 2】

前記不飽和化合物が、ビニルモノマーである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

R_1 が、プロピル、ブチル、ペンチル、またはヘキシルである、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

R_1 が、*n*-ブチル、*sec*-ブチル、イソブチル、または *tert*-ブチルである、請求項 3 に記載の化合物または方法。

【請求項 5】

R_1 が、ベンジルである、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 6】

R_2 、 R_3 、 R_4 、及び R_5 が独立して、 $C_1 \sim C_3$ アルキルである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

R_1 が、*n*-ブチルであり、 R_2 、 R_3 、 R_4 、及び R_5 が、メチルである、請求項 6 に記載の化合物または方法。

【請求項 8】

R_1 が、ベンジルであり、 R_2 、 R_3 、 R_4 、及び R_5 が、メチルである、請求項 6 に記載の化合物または方法。

【請求項 9】

前記不飽和化合物が、エチレン、プロピレン、アセチレン、スチレン、塩化ビニル、ビニルアルコール、酢酸ビニル、アクリロニトリル、アクリル酸エステル、メタクリル酸エステル、アクリル酸、(メタ)アクロレイン、アクロレイン、ブタジエン、インデン、ジビニルベンゼン、イソプレン、アセチレン、ビニルアセチレン、シクロペンタジエン、またはそれらの組み合わせである、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

前記方法が、一次分画プロセス、軽質留分分画、非芳香族ハロゲン化ビニル分画、プロセスガス圧縮、ブタジエン抽出、プロパン脱水素、ディーゼル及びガソリン燃料安定化、オレフィン複分解、スチレン精製、ヒドロキシ炭化水素精製において不飽和化合物の重合を安定させ、阻害するか、またはエチレン性不飽和種を含む樹脂及び組成物の前記重合を遅延させる、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記プロセスが、ブタジエン抽出またはスチレン精製である、請求項 10 に記載の方法。